

指定管理者に係る令和3年度事業報告書及び令和4年度事業計画書について (埼玉スタジアム2002公園)

指定管理者：埼玉スタジアム2002公園マネジメントネットワーク（令和2年度～令和6年度）

1 令和3年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

- ア 東京2020大会について、大会組織委員会や各関係機関と調整をしながら適切な試合環境を維持し、大きな事故やトラブルもなく開催した。
- イ 浦和レッズ戦のほか日本代表戦4試合やWEリーグ公式戦の初開催など、新型コロナウイルス対策の徹底を図りながら大規模な大会を誘致・開催した。
- ウ サッカーグラウンドは、きめ細かい維持管理を行い、年間を通して良好な芝の状態を確保した。
- エ 共同企業体各団体が協力し、クリスマスイベントやお花見イベントなどのにぎわい創出のための事業を実施した。

(2) 施設の利用状況（過去5年間）

施設名	H29	H30	R1	R2	R3
スタジアムほか	1,422,418人	1,238,210人	1,288,303人	259,529人	473,194人

※ 令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Jリーグなど大規模試合の人数制限を行った。
また、令和2年度は下記のとおり施設の貸出中止を行った。

- ・第4グラウンドとフットサルコート of 貸出中止：令和2年4月8日～6月15日

- (R3 大規模試合等)
- ・東京2020大会 11試合
 - ・ワールドカップカタール大会予選 4試合
 - ・浦和レッズ戦 20試合（Jリーグ等） ・天皇杯準決勝
 - ・WEリーグ 1試合 ・YBCルヴァンカップ決勝

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	304,929	304,929	0		
利用料金収入	324,416	385,317	△60,901	新型コロナウイルス感染症拡大防止による人数制限等による減	
その他収入	197,777	226,830	△29,053	新型コロナウイルス感染症拡大による売店収入等の減	
収入合計	827,122	917,076	△89,954		
人件費	311,816	323,888	△12,072	人員変動による減	
事業費	504,518	593,188	△88,670	光熱水費や消耗品費の減による減	
支出合計	816,334	917,076	△100,742		
収支差額	10,788	0	10,788		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	令和2年度
収入	772,061
支出	787,034
収支差額	△14,973

2 令和4年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 地域の核、まちづくりに貢献する公園づくり
- イ 公共財・環境財としての公園管理
- ウ 開かれたスタジアム、アクティブなスタジアムへの転換
- エ 日本一のスタジアム、サッカーの拠点化
- オ 東京 2020 大会のオリンピックレガシーの継承

(2) 事業計画

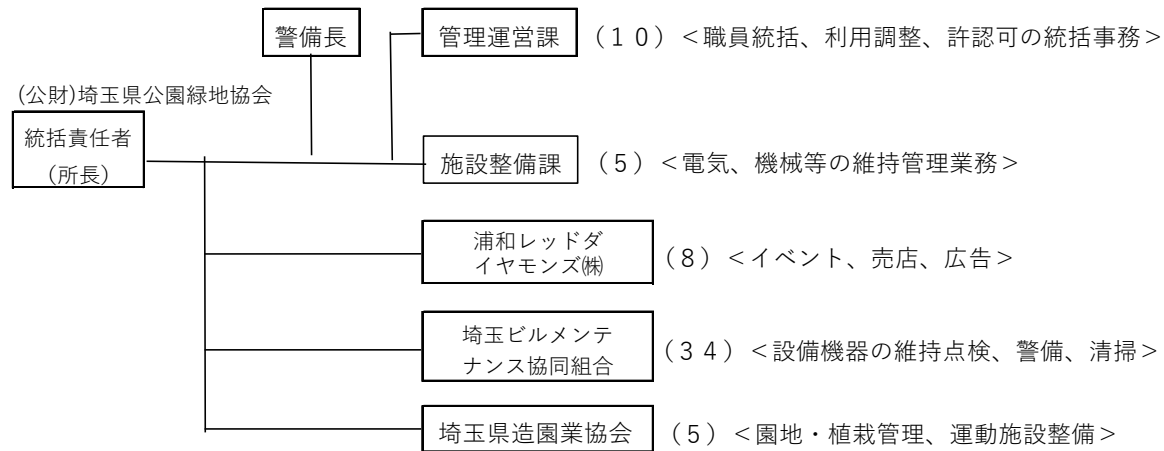
- ア 安全に利用ができ利用者に親しまれる公園づくりを進める。
- イ 環境に配慮したスタジアムの管理を行う。
- ウ 日本代表戦などの大規模試合の誘致を行う。
- エ サッカー以外の多様な利活用を図るため、にぎわい創出のためのイベントを開催する。
- オ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める。

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	344,154	304,929	39,225	12.9	20周年事業実施等による増
利用料金収入	377,331	385,317	△7,986	△2.1	
その他収入	233,128	226,830	6,298	2.8	
収入合計	954,613	917,076	37,537	4.1	
人件費	334,291	323,888	10,403	3.2	
事業費	620,322	593,188	27,134	4.6	
支出合計	954,613	917,076	37,537	4.1	
収支差額	0	0	0		

(4) 執行体制【64名】



(参 考)

○公園の概要

さいたま市の東部に位置し、観客席数63,700席のスタジアムのほか、サブグラウンド3面（うち人工芝1面）、フットサルコート2面などを設置している。

（供用面積約30.4ha）

○開設年月日 平成13年10月12日